

随筆再掲載



新年を迎えて

新者や珍室長書

新年を迎える度に今年こそと思うのだ。毎朝、新年でなくとも今日は有益な一日を過したいと思う。そしてその一日を充実した気持で生活出来る、よかったと思う。怠けた一日は心残りだ。一日も無駄にしたいと思う。まして一年を無駄にしたくない、僕は毎年今年こそものになりたいと思う。今年はいいい年にしてやると思う。個人としては自分をものにしたいと思う。他人に対しては幸福であってほしいと思う。皆が少しづつ幸福になれる事は人類の本願だと僕は益々信じている不心得の者もないとは言わないが、それは例外であり、人類の進軍からの脱落者だと見ていいと思う。それは常道ではない、健全な道ではなく、自暴自棄の道である。三十人に一人か二人は真面目に生活は出来ない人がいるものだ。図抜けた人も三十人に一人か二人であろうが、人生からの脱落者も三十人に一人いるかいないかであろう。そう言うのがかたまつて事件を起すので、新聞種に

もなり、人々の注意もひくので、そう言う人が多
いように思うが実際はそう言う人は例外的な存在
で、真面目に働いている人の方が遙かに多いので
社会は健全に発展してゆくのだ。そして皆も無事
に生活出来ているので、僕達も安心して毎日生活
が出来、自分の仕事に努力出来るのだ。
僕は自分の仕事の性質にもよるが、自分を本当
に生かす事が大事だと思っている。他人の事を世
話したり、気にしたりする前に自分の事を気にし
自分の生活をひきしめ、毎日勉強努力する事が必
要だと思っている。他人の世話をやく事で、自分
の実力が増すわけでもない、又自分の仕事がよく
なるわけではない。自分の生活をよくする事は自
分の努力によるので、他人の努力による事は少な
い。他人に親切な事は必要だ、他人に親切にされ
ないと困る時もある。人間はお互いに助けあうこ
とは必要であり、協力せずには何に一つ出来ない
のも事実だが、自分の一個の人間としての実力を

増すには、自分の努力が必要なので、他人の努力
が必要なのではない。他人が怠けられては困る場
合もあるが、それは他人の責任で自分の責任では
ない。他人の事を気にして、自分の事を気にしな
い人が時々いるが、そう言う人はいつまでたつて
ものにならない人だ。大事なのは先ず自分をも
のにしてから、他人に要求すべき事を要求すべ
きで、自分のする事を忠実にしないで、他人にばか
り要求する人は遂にもならない。
こんな事はわかり切った事だが、今の世の中を
見ると、他人の事を気にして、自分のしなければ
ならない事はしない、少くも他人を批評する程度
に自分の事は反省しない人がある。そう言う人は
進歩しないと思われる。
之からの世の内は益々真価が通用する世の中だ
と思うから、自分の真価を高める事が必要であ
る。自分の真価を高めるのは、自分の欠点をなお
し、自分の長所を生かす事である。そして自分の
責任を忠実に果し、人々の信頼に報いる事であ
る。それ以上自分の真価を高める事が出来れば、
その人は益々人々に信用され、尊敬される事にな
り、自分の仕事も益々有望になるわけだ。
怠けていて人間は進歩出来るものではない、努
力に努力を重ねて、やっと少しづつ進歩出来るわ
けである。一年はぼんやりしているとすぐたつて
しまう。しかし毎日努力をつづけるものにとって

は、一年を無意味に過す事にはならない、遅々としてではあるが、知らない内に少しづつ進歩するものだ。一年の進歩は知れたものにして、進歩出来れば、それだけの張合いもあるわけである。怠けたものと、努力したものと差は一年たつと少しづつあらわれるものだ。その上に努力する習慣がつくのと、怠ける習慣がつくのとは大変な差になる。習慣が出来れば、年を重ねるに従ってその差は大きくなり、取り返しのつかなくなるのは事実である。

ここまで書いた時、原稿をとりに来た方が見え、新年号だから何か楽しい事をかいてくれとの話、今更、楽しい話もかけないので、今迄の調子で、書かしてもらおう。

僕は人生は楽しいものだと思っている。決して苦しむ為に僕達は生れて来たのではなく、楽しめるだけ楽しむ事はいい事だと思うが、しかし現実にはそう甘いものでもなく、楽許りして生活出来るものでもない。それよりはもっと真面目なものと思つて、真面目に働いたり勉強したりする処に楽しみを見出す方が、生きる張り合があるように思っている。日常生活は充実したものであり、努力仕甲斐のあるものと思ひ、毎日を健康におくる事に喜びを感じている。

お正月がくるのは子供の時はたのしかったが、しかし正月が来る度に今年こそものになりたいと

決心を新にする処に喜びがあるのも事実で、一年々々いくらか進歩してくれるのに興味を持って来た。人間の進歩は遅いものだが、毎日努力していると、いつのまにかそれが重なり、いろいろの経験もつみ段々ものになってくるのはたのしみなものである。



僕は人生の楽しみは、日常生活にあるのだと思つている。変化するのが面白いのではなく、相変らずの生活をしている内に、段々人生の味がしみじみわかってくるのだと思つている。異常の生活をしなければ面白くないのではその人はまだ人生をしみじみ味わっている人とは言えないのではな

いかと思つている。毎日変化のないように見える生活の内に、味い尽せない妙味を味える人で始めて本当に悟った人と言えるのだと思つている。

しみじみと花の美しさ、人情の美しさ、親子や、夫婦や、友達の愛情の深さが味わえるのは日常生活の内、異常時には味わえない、静かな、微妙な面白さは、相変らずの生活の内に味わえるものだと思つている。

変化を求める気持も、冒険をしたがる人もあつていいと思うが、日常の生活の内にしんみりした味わいを味う事が出来て始めて人生の面白味がかかるのだと言う気になっている。

毎年新年を迎えて、お互にお目出とうと言つて新しい年を迎える事が喜びあう事が出来る事を、僕は幸福な事に思つている。それと同時に相互の幸福を願ひ、今年も無事にくらせるようお互に祝福しあう習慣は実にいい事と思ひ、そして皆で新年をたのしく過ごす事が出来る事は、大へんお目出たい事と思うが、同時に、今年こそ大いに働いて、自分をものにし、いい年にしようと思つて、決心する事は大事な事と思う。

自分も老人になつたせいか、皆の幸福を望みたい気が強くなる。本當に今年はいい年であつてほしいと思ふ。同時に皆が協力する事で日本をよき国にしたく、そして世界の平和をのぞまないではいられない。祈りたい気持になるのである。